

課題番号9

基本方針：Ⅱ	課題名：ダリアの生産拡大	
対象：ダリア生産者	計画期間：H30～R1	
	事務所名：東部農林振興事務所	
普及指導事項	活動内容	活動成果（計画当初→R1年度末）
①新規生産者の確保	新規生産予定者に対する講習会	新規生産者の増加 1名 → 2名
②茎頂培養由来品種の安定生産	品種選定検討会 親株・網質管理指導 成績検討会	茎頂培養由来品種の増加（種球100球以上） 0品種 → 9品種

総合評価（コメント）

A：5名

- 新たに2名の生産者が加わり着実に成果がでていと感じます。引続きダリア産地の維持にJAならけんも協力いたしますので期待しています。
- 生産安定技術が進めば新規生産者が確保できるのではないかと。組織体制強化と併せて取り組んで頂きたい。
- 新規就農者もあり、茎頂培養由来品種も出来ている。より多くの品種ができる事を期待する。
- 普及活動はおおむね適切である。全国1位のダリア産地をPRするため、宇陀市や山添村で観光ダリア園をすることを期待する。
- 今後もダリア産地の課題の改善策提示に期待する。

B：1名

- 後継者獲得、地域ぐるみでのブランド化推進（直接の販売につながらなくても）のために地元自治体の観光広報部門との連携などを活発化させてほしいです。また、「吉野の桜、平群のバラ、葛城の菊、宇陀のダリア」といったフレーズで、「花の県・奈良」の協議会でも作っていただければいいことを期待し、これからへの期待の大きさからBとしました。

普及指導計画への反映状況等

- 講習会の開催等により新規生産者確保に繋がりました。今後は一般活動において、新規生産者に対し、フォローアップを実施し、安定したダリア生産に繋げて参ります。
- 茎頂培養由来栽培品種は生産技術が確立しました。今後は一般活動において、生産組織と連携し、生産体制の継続を支援して参ります。
- 地域との連携について、市村庁舎や市開催産業イベントにおいて、地元自治体と生産者組織が連携し、切花展示等を実施しています。今後はブランド化を含めた地域外への情報発信支援に力を入れて参ります。